

(3)大規模施設連携タイプ(防災拠点型)

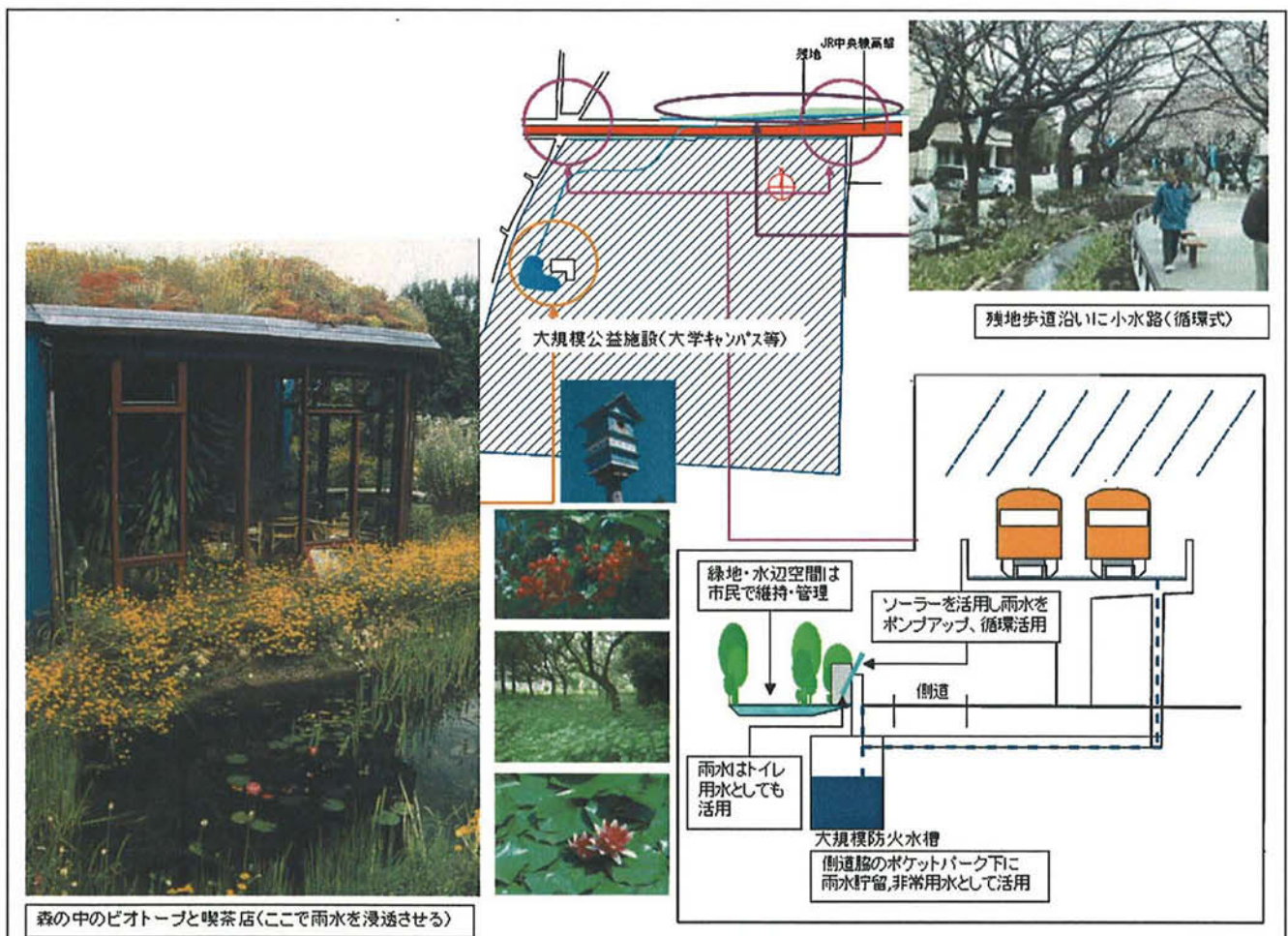
- ・ 鉄道沿線の大規模な公益施設（大学キャンパス、等）と連携して、地域の防災拠点となる雨水循環活用システムの展開を図る。
- ・ 横断道路間の雨水を、周辺公益施設内の大規模防火水槽として貯水し、これを循環的に活用することで、公益施設の一部を緑地・水辺空間として活用を図るとともに、コミュニティの拠点として発災時には、防災拠点としても機能させる。
- ・ 大学等では、公益施設では大量に地下水をくみ上げ活用している施設が多く、水循環という観点からも、鉄道高架橋の雨水活用も含め、当該施設での雨水の循環的活用を図ることが望ましい。

【設置場所】

- ・大規模公益施設隣接地

【設置費用】

一箇所 2,000～4,000 万円



(4) 駅部

- ・ 雨水活用にあたっては、トイレ用水への活用を主に、対費用効率の高い、雨水活用システムを展開する。